



2010 ミニディスクロージャー誌

第110期 営業の中間ご報告

平成22年4月1日 ▶ 平成22年9月30日



MIYAZAKI TAIYO BANK 2010・9
MINI DISCLOSURE

○ 経営理念

日進月歩の伸展

地域社会の繁栄

生活文化の向上

○ 当行が目指す銀行像

お客様から
 選ばれ続ける銀行

信頼性の高い銀行

健全で収益力の
 強い銀行

豊かな地域づくりに
 貢献する銀行

Contents

- 経営理念・当行が目指す銀行像 1
- ごあいさつ 2
- 中期経営計画 3
- 業績ハイライト 4
- 資産の健全性 7
- 地域・社会貢献活動 10
- 財務諸表 13
- サービスネットワーク 17
- 株式会社ごあんない・会社概要・役員 裏表紙

表紙／行藤の滝(延岡市)

ごあいさつ



取締役頭取

宮田 徳積

皆様には、平素より私ども宮崎太陽銀行をお引立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、平成22年9月期のミニディスクロージャー誌(第110期営業の中間ご報告)を作成致しました。当行の業績や財務状況、中期経営計画、地域・社会貢献活動等について、できるだけわかりやすく紹介させていただいております。ご高覧のうえ、ご理解を賜れば幸いに存じます。

当行はこれからも地域社会の繁栄のため、より質の高い金融商品・サービスの提供に努めてまいりますので、今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成22年12月

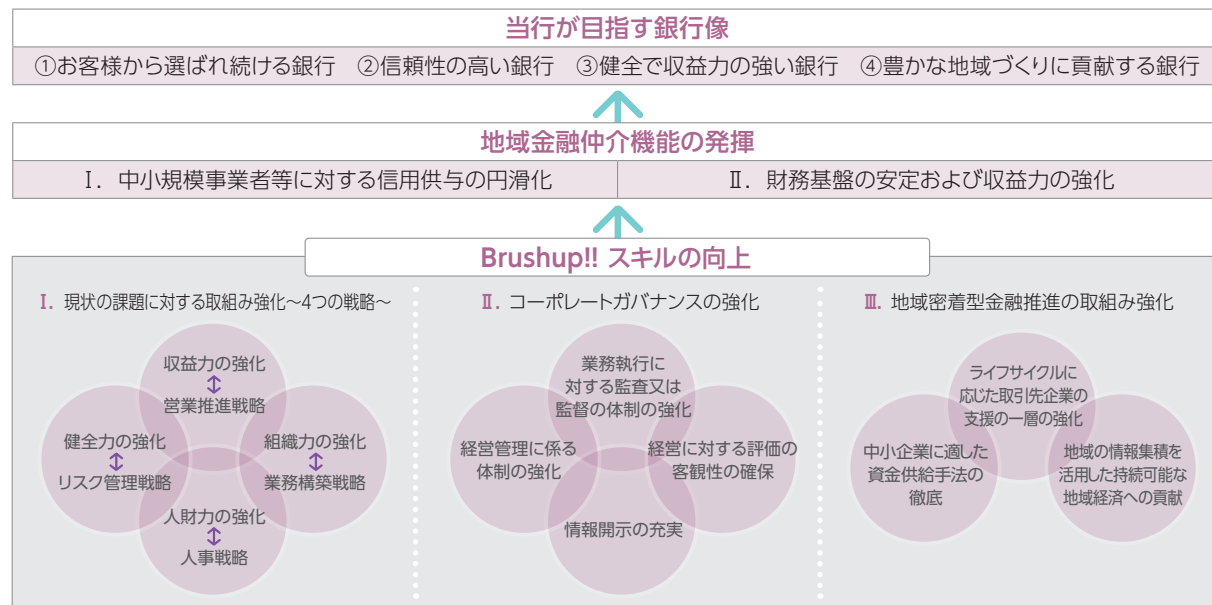
中期経営計画の名称と期間

名称：Brushup Project (ブラッシュアップ・プロジェクト) 期間：平成22年4月1日～平成24年3月31日

基本方針

- 中期経営計画と経営強化計画の一体的な取組みを推進し、中小規模事業者等の皆様に対する信用供与の円滑化と、当行の財務基盤の安定および収益力の強化によって、地域金融仲介機能をより一層発揮していきます。
- 中小規模事業者等の皆様に対する信用供与の円滑化を実現するため、中小規模事業者等向け信用供与の残高および貸出先数の増加を図っていきます。また、目利き能力やコンサルティング機能の向上に努め、地域密着型金融のさらなる推進によって、取引先企業の経営改善支援に積極的に取り組んでいきます。
- 当行の財務基盤の安定および収益力の強化を図り、コア業務純益および業務粗利益経費率の改善を進めます。
- 経営意思決定の迅速化・機動性向上、経営監督機能の強化など、適切なコーポレート・ガバナンスが行われる組織および企業風土構築に取り組んでいきます。

中期経営計画の概要



損益

与信関連費用の大幅な減少や有価証券関係損益の改善に加え、積極的に取り組んだ経費削減の効果等により、経常利益は前年同期比19億60百万円増加して14億62百万円、中間純利益は同比18億90百万円増加の10億2百万円を計上することとなりました。

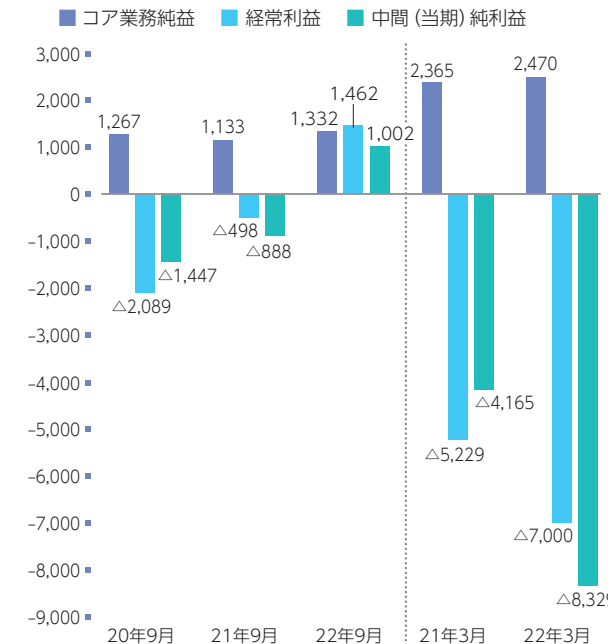
用語解説 >>

コア業務純益 / 業務純益から将来の貸倒れに備えるための引当をする「一般貸倒引当金繰入額」と国債等債券売買に伴う損益を示す「債券5勘定戻」を控除した実質の業務純益です。

経常利益 / 業務純益に貸出金償却などの臨時損益を加減算したものです。

中間(当期)純利益 / 経常利益に特別損益と税金等を加減算したものです。

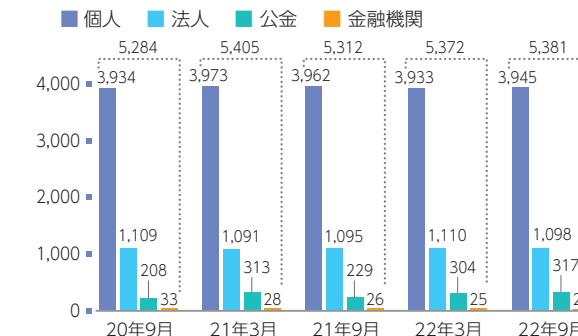
損益の推移 (銀行単体ベース) (単位：百万円)



預金

預金につきましては、前年同期比で個人預金が17億円(△0.43%)減少したものの、公金が88億円増加(+38.43%)、法人預金も3億円増加(+0.27%)し、全体では69億円増加(+1.30%)して、当中間期末の預金残高は5,381億円となりました。

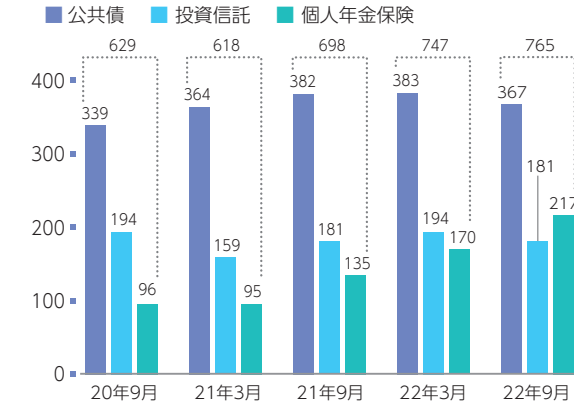
預金残高の推移 (単位：億円)



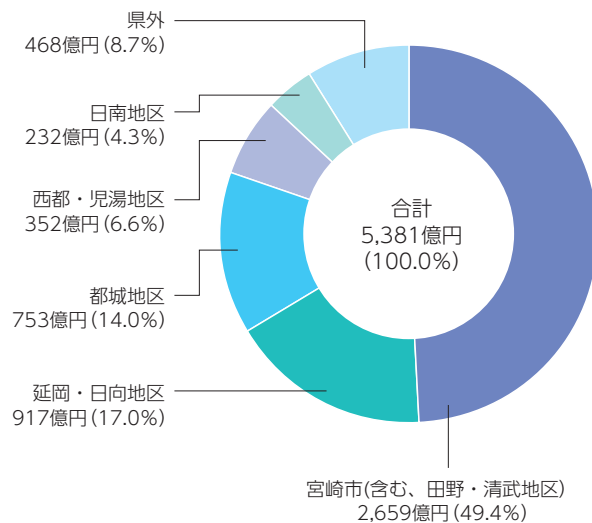
預り資産

預り資産は、公共債が前年同期比15億円減少(△3.93%)したものの、新商品の需要の高まりを受けて個人年金保険が同比82億円増加(+60.74%)し、当中間期末の預り資産全体の残高は765億円となりました。

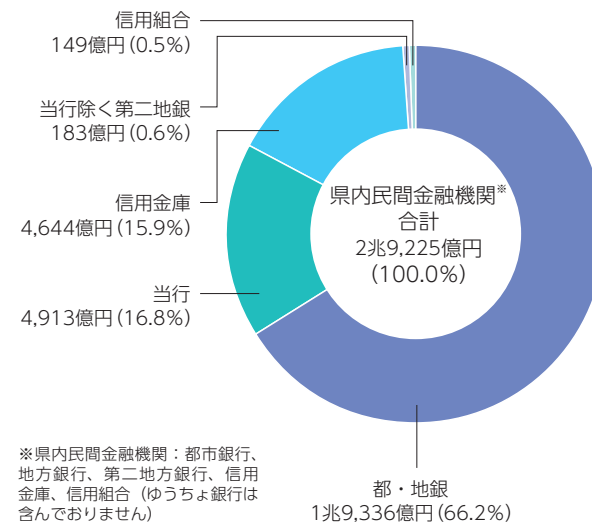
○ 預り資産残高の推移 (単位：億円)



地域別預金残高 (平成22年9月末)



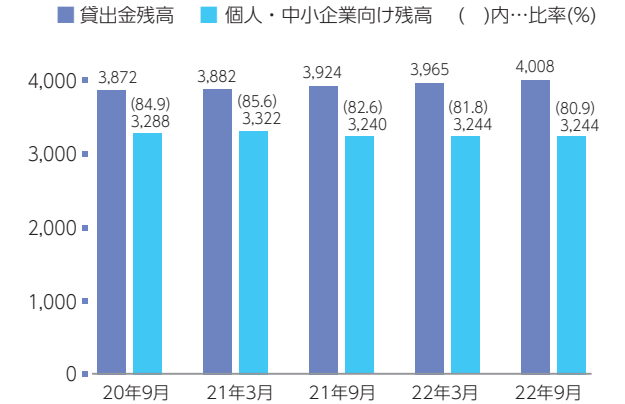
宮崎県内における預金シェア (平成22年9月末)



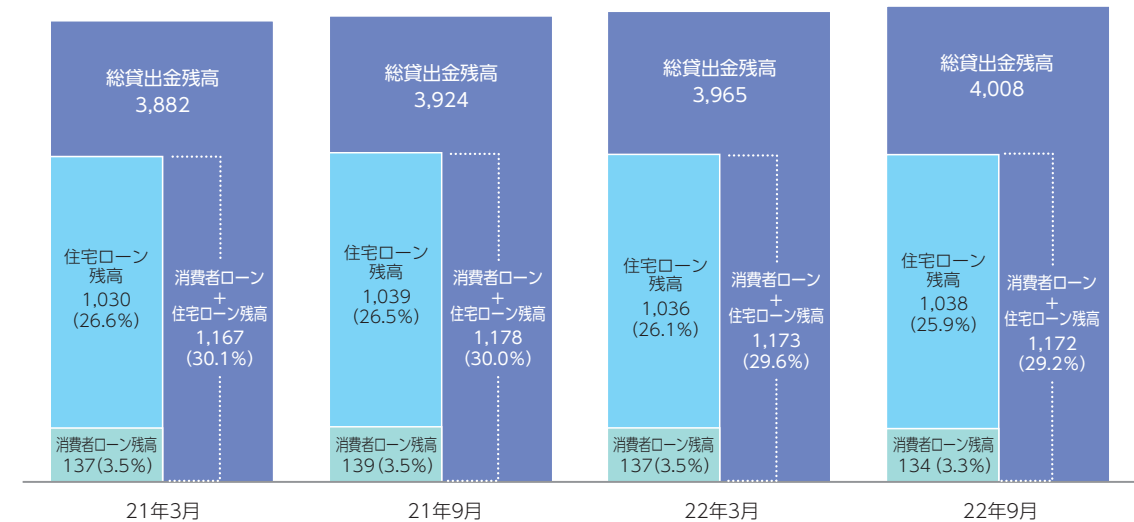
貸出金

貸出金については、地域経済の低迷による資金需要の伸び悩みで個人・中小企業向け貸出が前年同期比4億円増加(+0.12%)にとどまったものの、公共機関等向け貸出が同比80億円増加(+11.70%)して、当中間期末の貸出金残高は4,008億円となりました。

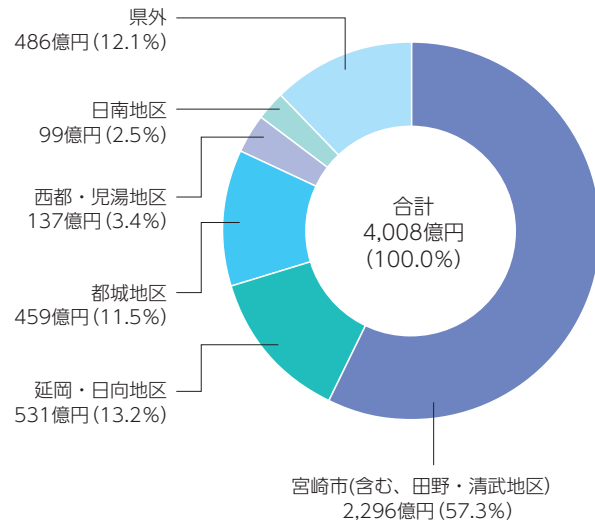
○ 貸出金残高の推移 (単位：億円)



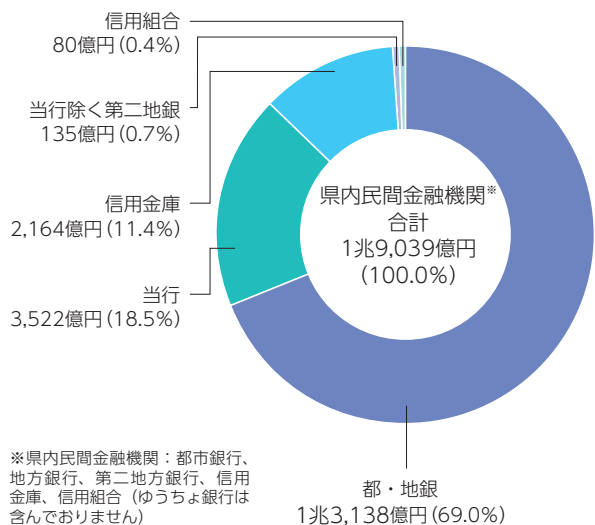
○ 消費者ローン・住宅ローン貸出残高の推移 (単位：億円)



地域別貸出金残高 (平成22年9月末)



宮崎県内における貸出金シェア (平成22年9月末)

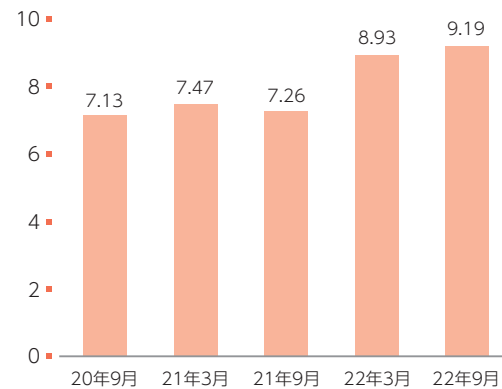


*県内民間金融機関：都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信用金庫、信用組合（ゆうちょ銀行は含んでおりません）

自己資本比率

国の資本参加による資本増強等によって平成22年3月末に8.93%まで上昇した自己資本比率は、利益の積上げ等によってさらに0.26ポイント上昇し、同9月末には9.19%となりました。

自己資本比率の推移 (銀行単体ベース) (単位：%)



用語解説 >>

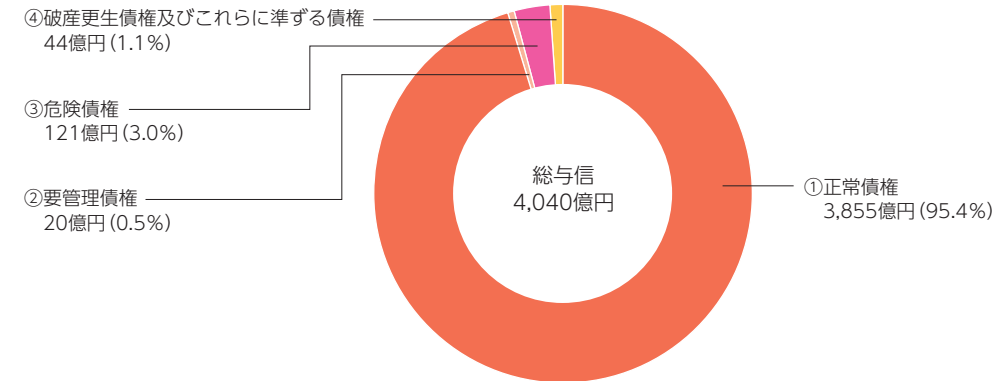
自己資本比率／銀行経営の健全性を示す重要な指標のひとつです。海外に営業拠点を持つ銀行は8%以上、国内のみで営業している銀行（当行適用）に対しては4%以上が法律で義務づけられています。

不良債権の状況

不良債権については、経営の重要な課題としてとらえ、厳格な審査と管理により資産の健全化に積極的に取り組んでおります。

金融再生法に基づき債務者の財産状況、経営成績などを基礎として「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」「正常債権」に区分

し、資産の査定を下記のとおり開示しております。当行の不良債権額は「④破産更生債権及びこれらに準ずる債権44億円」「③危険債権121億円」「②要管理債権20億円」の合計185億円となっております。この不良債権額を貸出金ほか与信総額で割った不良債権比率は4.59%となっております。



	21年3月	22年3月	22年9月
不良債権 (②+③+④)	143億円	188億円	185億円
総与信に占める割合 (不良債権比率)	3.65%	4.71%	4.59%

用語解説 >>

正常債権／正常債権とは、債務者の財政状況及び経営成績に特に問題がないものとして、下記の3区分に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

要管理債権／要管理債権とは、3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権をいいます。

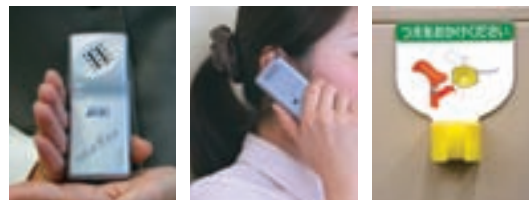
危険債権／危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財務状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

破産更生債権及びこれらに準ずる債権／破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

□ 音声拡聴器・杖ホルダーを全店に設置

会話が聴き取りにくいお客様のお役に立てるよう、平成22年10月、耳にあてるだけで相手の声が大きく聴こえる「音声拡聴器」を全店に設置いたしました。

また、書類等を記入していただく際にお手持ちのステッキ等が倒れることを防止するため、「杖ホルダー」を全店の記帳台やカウンターに設置しました。



□ 金融教育への参画

当行行員が高校や大学でお金や銀行の役割に関する講演を行っているほか、中学生の職場訪問受入れや、聴覚支援学校卒業予定者向けに銀行の利用の仕方等

について説明会を開催するなど、さまざまな活動に取り組んでいます。



□ インターンシップ(就業体験)

就職活動を目前にした大学生からの要望に応え、社会人として求められる能力や心構えのほか、銀行業務の内容や就職活動のこつ等をテーマに、平成22年度よ

リインターンシップ(就業体験)を開始しました。



□ 環境保護活動

○ 太陽光発電・雨水利用

当行本店では、太陽光発電によって得られた電力を夜間の街路灯用に使用しているほか、建物の地下に埋設しているタンクに雨水を貯留し、トイレ用の水として利用しています。



査や川の標識調査などの河川環境保護活動に、平成17年度からボランティアで参加しています。



○ アカウミガメ保護活動

アカウミガメの産卵地である赤江浜(宮崎市)の環境を守るため、市民の皆様とともに清掃活動に参加しています。



□ 地域行事への協賛や行員ボランティアによる活動支援

○ 国際視覚障がい者マラソン大会

視覚障がい者に対する理解啓蒙活動に寄与することを目的として宮崎市で開催されている「国際視覚障がい者マラソン大会」に、第1回大会(平成4年)から毎年協賛を続けています。当行行員もボランティアスタッフとして参加し、大会運営のお手伝いをしています。



○ 宮崎太陽銀行旗 宮崎県ジュニアドッジボール選手権

宮崎県内各地の子どもたちが集うこの大会に、第1回大会(平成4年)から毎年協賛を続けています。当行行員も計時係や記録係のボランティアスタッフとして参加し、大会の運営を支えています。



○ わくわく自然の家まつり

宮崎県内各地から1,000名以上の子どもたちが集う宮崎県青少年自然の家「わくわく自然の家まつり」に、

平成4年から毎年協賛を続けています。当行行員も市民ボランティアスタッフの一員としてイベント運営のお手伝いをしています。



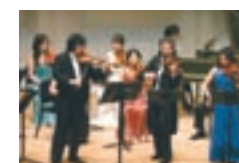
○ まちなかフラワーパーク

みやざきフラワーロードネットワーク主催の「まちなかフラワーパーク」に協賛し、植栽による市街地美化活動を支援しています。当行行員もボランティアで参加し、市民の皆様とともに季節の花の植栽活動を行っています。



○ 宮崎国際音楽祭/宮崎県美術海外留学賞

宮崎県の文化水準の向上に寄与する「宮崎国際音楽祭」のほか、地元の美術家や美術家を志す若者を育成するための「宮崎県美術海外留学賞」の協賛を続けています。



画像提供:財団法人宮崎県立芸術劇場

□ わが街を愛そう ～ラブリーマイタウン運動～

○ 地域のお祭りへの参加

まつりえれこっちゃん宮崎(宮崎市)、ばんば踊り(延岡市)、盆地まつり(都城市)、飢肥城下まつり(日南市)など、宮崎県内各地のお祭りに当行行員も参加し、地域行事の活性化に取り組んでいます。



○ 職場献血/骨髄バンク啓発活動支援

当行本店で年2回の職場献血を実施するとともに、平成21年度からは、みやざき骨髄バンク推進連絡会議の啓発活動にも協力しています。



□ 小さな親切運動

小さな親切運動宮崎支部の支部長企業として、地元企業と連携し、小さな親切実行章の贈呈のほか、

清掃奉仕活動や社会福祉活動を行っています。



第110期 中間貸借対照表 (平成22年9月30日現在)

科目		金額	
〈資産の部〉			
現金預け金	10,689	現金預け金	10,689
コールローン	37,400	コールローン	37,400
買入金銭債権	472	買入金銭債権	472
有価証券	110,658	有価証券	110,658
貸出金	400,834	貸出金	400,834
その他資産	1,430	その他資産	1,430
有形固定資産	14,182	有形固定資産	14,182
無形固定資産	368	無形固定資産	368
繰延税金資産	4,749	繰延税金資産	4,749
支払承諾見返	1,076	支払承諾見返	1,076
貸倒引当金	△ 9,327	貸倒引当金	△ 9,327
資産の部合計	572,537	資産の部合計	572,537
〈負債の部〉			
預金	538,139	預金	538,139
借入金	1,013	借入金	1,013
社債	1,000	社債	1,000
その他負債	1,817	その他負債	1,817
未払法人税等	49	未払法人税等	49
リース債務	42	リース債務	42
資産除去債務	11	資産除去債務	11
その他の負債	1,714	その他の負債	1,714
退職給付引当金	1,813	退職給付引当金	1,813
役員退職慰労引当金	281	役員退職慰労引当金	281
睡眠預金払戻損失引当金	240	睡眠預金払戻損失引当金	240
偶発損失引当金	65	偶発損失引当金	65
再評価に係る繰延税金負債	1,423	再評価に係る繰延税金負債	1,423
支払承諾	1,076	支払承諾	1,076
負債の部合計	546,870	負債の部合計	546,870
〈純資産の部〉			
資本金	12,252	資本金	12,252
資本剰余金	10,844	資本剰余金	10,844
資本準備金	10,844	資本準備金	10,844
利益剰余金	2,174	利益剰余金	2,174
利益準備金	26	利益準備金	26
その他利益剰余金	2,148	その他利益剰余金	2,148
自己株式	△ 114	自己株式	△ 114
(株主資本合計)	(25,158)	(株主資本合計)	(25,158)
その他有価証券評価差額金	△ 1,019	その他有価証券評価差額金	△ 1,019
繰延ヘッジ損益	△ 0	繰延ヘッジ損益	△ 0
土地再評価差額金	1,528	土地再評価差額金	1,528
(評価・換算差額等合計)	(508)	(評価・換算差額等合計)	(508)
純資産の部合計	25,666	純資産の部合計	25,666
負債及び純資産の部合計	572,537	負債及び純資産の部合計	572,537

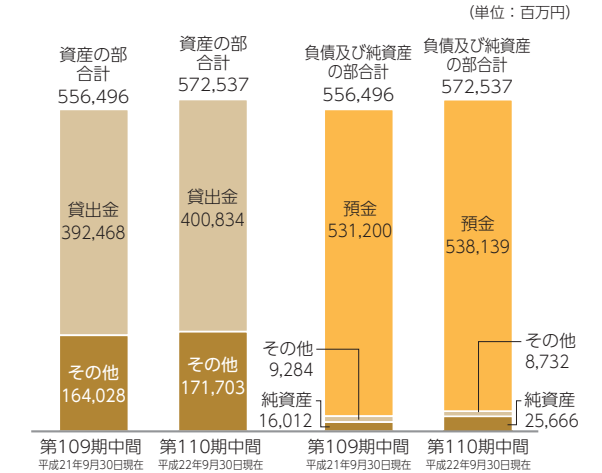
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

第110期 中間損益計算書 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

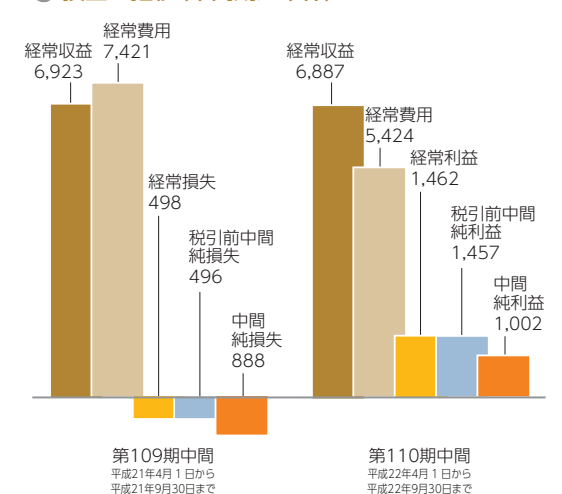
科目		金額	
経常収益	6,887	経常収益	6,887
資金運用収益	5,628	資金運用収益	5,628
(うち貸出金利息)	(5,002)	(うち貸出金利息)	(5,002)
(うち有価証券利息配当金)	(598)	(うち有価証券利息配当金)	(598)
役員取引等収益	876	役員取引等収益	876
その他業務収益	264	その他業務収益	264
その他経常収益	118	その他経常収益	118
経常費用	5,424	経常費用	5,424
資金調達費用	480	資金調達費用	480
(うち預金利息)	(444)	(うち預金利息)	(444)
役員取引等費用	561	役員取引等費用	561
その他業務費用	38	その他業務費用	38
営業経費	4,212	営業経費	4,212
その他経常費用	130	その他経常費用	130
経常利益	1,462	経常利益	1,462
特別利益	10	特別利益	10
特別損失	15	特別損失	15
税引前中間純利益	1,457	税引前中間純利益	1,457
法人税、住民税及び事業税	10	法人税、住民税及び事業税	10
法人税等調整額	444	法人税等調整額	444
法人税等合計	454	法人税等合計	454
中間純利益	1,002	中間純利益	1,002

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

○ 資産・負債及び純資産の推移(中間期/単体)



○ 損益の推移(中間期/単体)



中間株主資本等変動計算書につきましては、当行のホームページに掲載しております「決算短信」をご覧ください。
(ホームページアドレス <http://www.taiyobank.co.jp/>)

第110期 中間連結貸借対照表 (平成22年9月30日現在)

科目		金額	
〈資産の部〉			
現金預け金	10,791	預金	537,133
コールローン及び買入手形	37,400	借入金	1,413
買入金銭債権	472	社債	1,000
有価証券	110,718	その他負債	2,171
貸出金	395,960	退職給付引当金	1,823
リース債権及びリース投資資産	4,074	役員退職慰労引当金	281
その他資産	2,370	睡眠預金払戻損失引当金	240
有形固定資産	14,330	偶発損失引当金	65
無形固定資産	391	再評価に係る繰延税金負債	1,423
繰延税金資産	4,830	支払承諾	1,094
支払承諾見返	1,094	負債の部合計	546,647
貸倒引当金	△ 9,508	〈純資産の部〉	
資産の部合計	572,926	資本金	12,252
		資本剰余金	10,844
		利益剰余金	2,305
		自己株式	△ 116
		(株主資本合計)	(25,287)
		その他有価証券評価差額金	△ 1,020
		繰延ヘッジ損益	△ 0
		土地再評価差額金	1,528
		(評価・換算差額等合計)	(507)
		少数株主持分	484
		純資産の部合計	26,279
		負債及び純資産の部合計	572,926

連結子会社一覧 (平成22年9月30日現在)

株式会社 宮崎太陽ビジネスサービス	(株)宮崎太陽銀行の委託による現金等の計算、整理、集配金業務等
株式会社 宮崎太陽リース	情報・事務用・医療機器等各種物件のリース、金銭貸付、各種の金融業務、債務保証の業務等
株式会社 宮崎太陽キャピタル	株式・社債等への投資、経営コンサルティング業務等

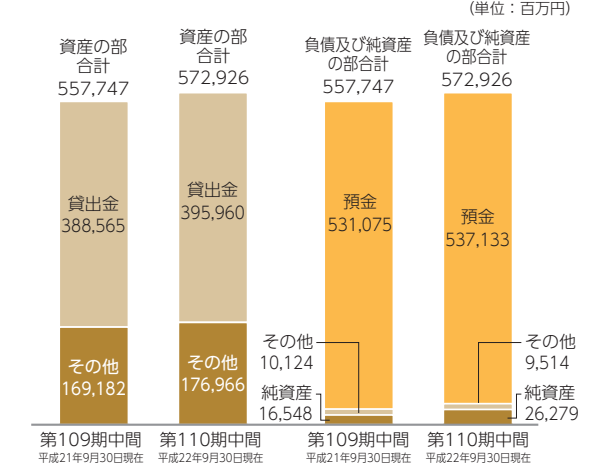
※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

第110期 中間連結損益計算書 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

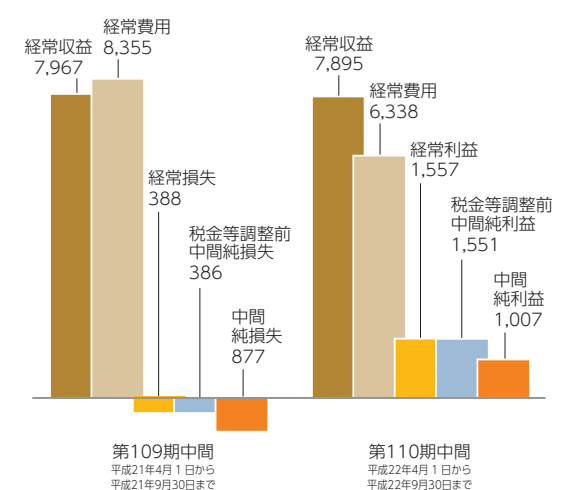
科目		金額	
経常収益	7,895	経常収益	7,895
資金運用収益	5,593	経常費用	6,338
(うち貸出金利息)	(4,963)	資金調達費用	482
(うち有価証券利息配当金)	(601)	(うち預金利息)	(444)
役員取引等収益	903	役員取引等費用	556
その他業務収益	1,288	その他業務費用	1,017
その他経常収益	110	営業経費	4,188
経常費用	6,338	その他経常費用	93
資金調達費用	482	経常利益	1,557
(うち預金利息)	(444)	特別利益	10
役員取引等費用	556	償却債権取立益	10
その他業務費用	1,017	特別損失	15
営業経費	4,188	減損損失	5
その他経常費用	93	資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10
経常利益	1,557	税金等調整前中間純利益	1,551
特別利益	10	法人税、住民税及び事業税	12
償却債権取立益	10	法人税等調整額	481
特別損失	15	法人税等合計	494
減損損失	5	少数株主損益調整前中間純利益	1,057
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10	少数株主利益	50
税金等調整前中間純利益	1,551	中間純利益	1,007
法人税、住民税及び事業税	12		
法人税等調整額	481		
法人税等合計	494		
少数株主損益調整前中間純利益	1,057		
少数株主利益	50		
中間純利益	1,007		

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

○ 資産・負債及び純資産の推移(中間期/連結)

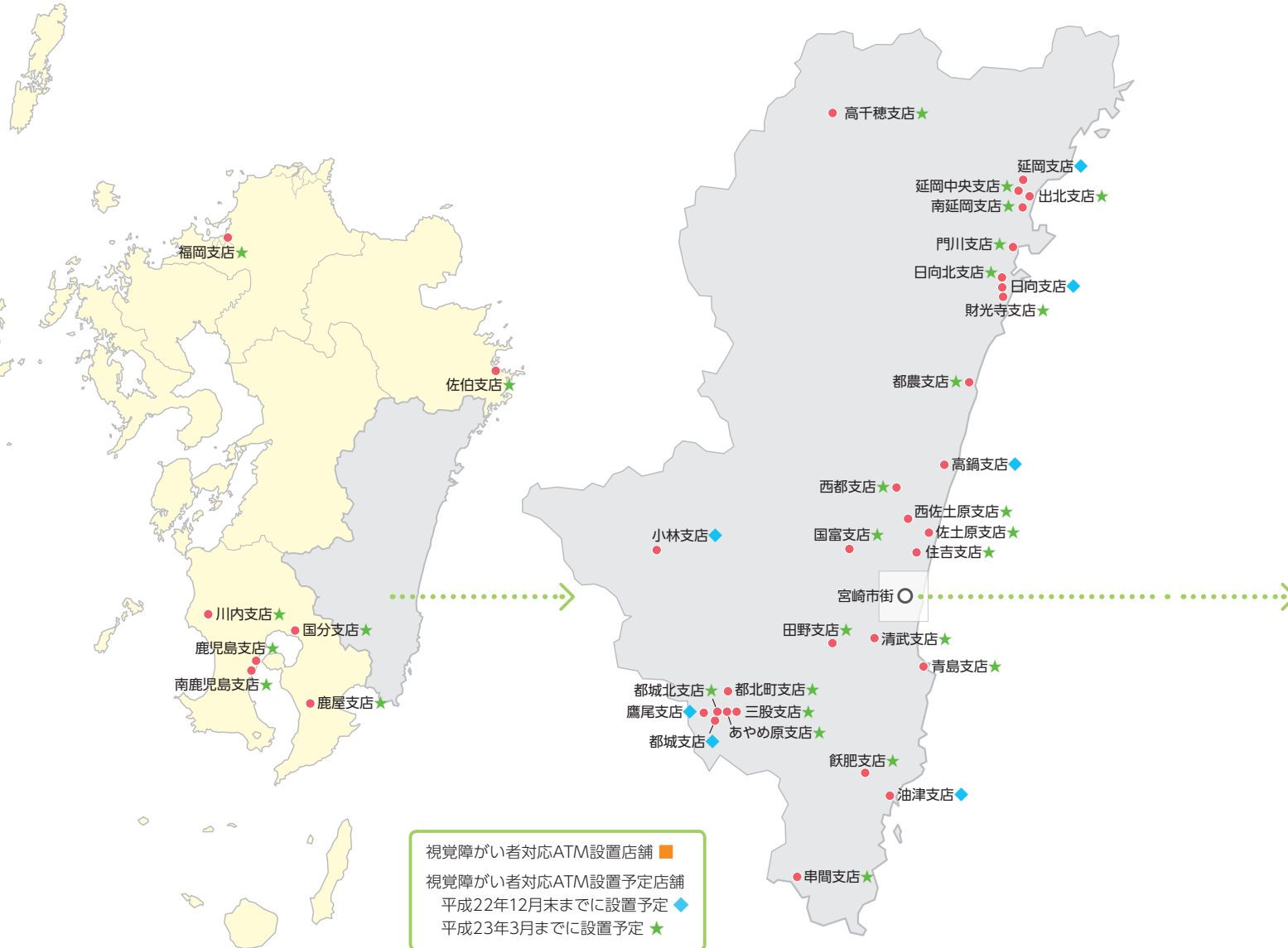


○ 損益の推移(中間期/連結) (単位:百万円)



中間連結株主資本等変動計算書につきましては、当行のホームページに掲載しております「決算短信」をご覧ください。(ホームページアドレス <http://www.taiyobank.co.jp/>)

九州・宮崎県



宮崎市街



■ 株式会社のご案内

○ 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

○ 定時株主総会

毎年6月下旬に開催いたします。

○ 基準日

定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日

○ 株主名簿管理人

東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

○ 郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

- **住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

- **未払配当金の支払について**

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

- **「配当金計算書」について**

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただきます。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

■ 会社概要

(平成22年9月30日現在)

創 立	昭和16年(1941年)8月1日
本 店	宮崎市広島二丁目1番31号
資 本 金	122億52百万円
預 金 残 高	5,381億円
貸 出 金 残 高	4,008億円
店 舗 数	53ヵ店(うち1ヵ店は出張所)
店舗外ATMコーナー	68ヵ所(共同出張所を含む)
行 員 数	702名

■ 役 員

(平成22年9月30日現在)

取締役頭取(代表取締役)	宮 田 穂 積
専 務 取 締 役	比 江 島 昌 信
専 務 取 締 役	川 崎 新 一
取 締 役 (人 事 部 長)	中 瀬 達 朗
取 締 役 (監 査 部 長)	船 間 文 宣
取 締 役 (営 業 推 進 部 長)	中 原 直 樹
取 締 役 (本 店 営 業 部 長)	山 崎 隆 夫
取 締 役 (審 査 部 長)	河 野 文 一
常 勤 監 査 役	林 田 洋 二
監 査 役	海 保 寛
監 査 役	安 田 天 祥

もしものときのお問い合わせ先

休日(0時~24時)・平日時間外(17時~翌9時)
のキャッシュカード・通帳の紛失・盗難時

TEL : 0985-23-1168



ホームページアドレス
<http://www.taiyobank.co.jp/>
(株)宮崎太陽銀行/経営企画部
〒880-8606 宮崎市広島二丁目1番31号
TEL : 0985-60-6270